

6月定例市議会

大型ハコモノ建設は根本から見直し、  
新型コロナ大災害にふさわしい支援を

日本共産党  
静岡市議会議員団  
ニュース

2020 - No.1

日本共産党静岡市議会議員団  
議員控室 TEL 054-254-2111  
(内) 4541  
FAX 054-272-4695  
アドレス http://www.jcps.s.jp/  
メール yk5f5@jcps.s.jp



6月定例市議会が6月16日(火)から7月13日(月)の日程で開催されています。



6月補正予算は、国・県からの支出金21億3千万円余を含め23億3千8百万円余の増額、その内新型コロナ緊急対策第4弾として18億3千2百万円余を計上しました。また、新型コロナの影響で今年度中止となった事業などの見直しを行い、これまでに明らかになった31事業合わせて、3億7千6百万円を減額しています。

新型コロナ対策では、地域経済の活性化として国の「GOTOキャンペーン」に合わせて、観光客が利用できる飲食・土産物のクーポン券などに1億円、商店街などが新しい生活様式を取り入れたイベントなどに1億1千万円、医療機関の重傷者受入整備や福祉施設の設備導入などで5千420万円、小中学校の児童生徒のタブレット整備などに14億1940万円や補充学習に1580万円余、文化やスポーツ活動での会場使用料補助に1500万円などがもりこまれています。

市は、これまでの新型コロナ対策で財政調整基金をほぼ使い切り、さらなる対策予算をつくるため、清水庁舎移転建設、歴史文化施設、海洋文化施設の総額400億円の事業を凍結しました。これを機に、コロナ後の新しい社会、まちづくりを真剣に考えるときです。

6月定例会会議日程・各委員会日程

会期：6 / 16 ~ 7 / 13 (28日間)  
開会：午前10時~

- 本会議(議案上程)
    - 6/16(月) 総括質問
    - 6/29(月) 6/30(火) 7/1(水)
  - 本会議(議案質疑・討論・採決)
    - 7/13(月)
  - 7/3(金)
    - ・総務委員会
    - ・企業消防委員会
    - ・市民環境委員会
  - 7/6(月)
    - ・厚生委員会
    - ・観光文化経済委員会
    - ・都市建設委員会
- ※本会議(総括質問)は静岡市ホームページから視聴できます。

6月議会での質問内容と日程



杉本まもる議員  
6月29日(月)  
午後1時30分頃から

新型コロナウイルス感染症に対する緊急対策について

エール静岡事業者応援金について

市は、新型コロナの影響で経営が厳しい全事業者を支援する「エール静岡事業者応援金」を創設。ところが、前年の売上高や減少率、納税要件などがあり、対象外の業者から不満の声が上がっています。すべての事業者を応援することを求めます。

傷病手当金について

白色申告の同居専従者の傷病手当金はどのように計算されるかを質し、制度から外されている個人事業主にも傷病手当金相当の制度をつくるよう求めます。

就学援助世帯への給食費補助について

準要保護世帯は臨時休校で給食がなくなった分、自己負担が増えています。国が生活保護世帯同様の支援を示唆しているもと、市も支援するよう求めます。

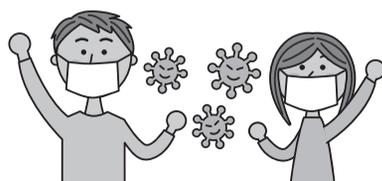


寺尾 昭議員  
6月30日(火)  
午後1時から

検査体制・医療確保の両面から今後の新型コロナ対策を質す

新型コロナウイルス感染拡大対策の基本は、PCR検査をいつでも受けられる体制があること、感染者が出た場合の医療体制が十分に確保されていることです。静岡市では爆発的感染は起きていませんが、今後の危険性にしっかり対処していかなければなりません。

これまでの市の対応を検証し、今後長期にわたると言われている新型コロナ対策を検査、医療の面から質します。



内田隆典議員  
6月30日(火)  
午後1時45分頃から

清水庁舎移転計画について

市長が「清水庁舎移転計画一時凍結」を発表しました。その経過について、市民への説明責任を質します。また、移転の賛否を問う住民投票の署名数に対する市の受け止め等も質問します。

桜ヶ丘病院移転計画について

新聞やテレビ報道などで情報が出てきているように、桜ヶ丘病院の移転先として清水庁舎周辺を提案しているのはなぜか、私だけでなく疑問に思っている方は大勢いるのではないのでしょうか。

質問では、現在の状況や市が提案したとする清水庁舎駐車場とした経緯、またなげ津波浸水想定区域と分かっていながら提案しているのかを質します。



# 市民の声と市議団の申し入れ・論戦が市政を動かす

新型コロナウイルス感染症の拡大から、いのちと暮らし、営業を守るため、日本共産党静岡市議団は、節目、節目に市長への申し入れを行い、市民の声を届け、市政に反映させてきました。

## 2月6日 市議団が市長に第一次申し入れ（以下その要旨）

☆市の相談窓口を設置し、検査体制について万全を期すこと。

☆市長を本部長とし、関係部局で構成する「新型コロナウイルス対策本部（仮称）」の設置を検討すること。



2月6日 田辺市長に申し入れ

## 2月27日 市は18局区等参加で、第1回危機管理本部会議を開催

新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報把握、地域経済への影響の把握と対応策、適切な市民への情報提供など検討・確認する。

## 3月18日 市議団は、国内外の感染拡大のもと、市民生活に深刻な影響があり、緊急の第2次市長申し入れを行う（以下その要旨）

☆正確な情報発信、ワンストップの「総合相談窓口」を設置すること。

☆市民生活や中小業者の営業等への影響を把握し、対応すること。

☆医療機関、福祉施設などへのマスク・消毒液等を確保すること。

☆中小・零細企業に無担保、無利子、無保証料の融資を行うこと。

## 4月17日 臨時市議会が開催され、新型コロナ緊急対策第1弾を可決

第1次緊急対策予算（総額12億400万円）で、市議団の申し入れの中で実現した施策（抜粋）

☆PCR検査のための医療用テント、陰圧装置、防護服を確保する。

☆「新型コロナなんでも相談ダイヤル」を設置する。

☆業務委託し、保健所が担う相談、接触者観察等の体制を強化する。

☆県と協調して無担保、無利子、無保証料の融資を実現する。

## 5月1日 臨時市議会が開催され、新型コロナ緊急対策第2弾を可決

第2次緊急対策の概要（総額719億8500万円）

☆特別定額給付金（市民一人10万円の給付金）

☆感染症拡大防止のための休業要請協力金（1店舗経営50万円など）

## 5月11日 緊急事態宣言が全国に広がるもとで、国や市の支援が遅く不十分なため、第3次の申し入れを行う。（以下その要旨）

☆医療用マスクなど、医療機関に必要な医療用資材を確保すること。

☆一人10万円の特別定額給付金の支給を早めること。

☆中小企業・小規模事業者に対し、家賃など固定費の助成をすること。

☆国保料や水道料の値上げを中止、国保の傷病手当金を創設すること。

☆3次総（5大構想）について、大幅に見直すこと。

## 5月20日 5月第2回臨時市議会が開催され、新型コロナ緊急対策第3弾を可決

第3次緊急対策予算（総額46億1200万円余）で、市議団が申し入れした中で実現した施策（抜粋）

☆全業種対象で一人10万円支給のエール静岡事業者応援金、観光事業者対象に、家賃、リース料など固定費の支出を支援するエール静岡観光事業支援金を創設する。

☆医療機関でのPCR検査や入院での自己負担分を公費で助成する。

☆私立の保育所などへマスク等感染防止費用を助成する。

☆国民健康保険や介護保険を減免するための条例改正。

☆国民健康保険の被用者に傷病手当金を支給するための条例改正。

## 6月1日 市の財政調整基金が残り1億円余と枯渇しつつあるもとで、新型コロナ対策の財源確保求め、第4次の申し入れを行う（この申し入れは当初5月27日を予定したが、当局の都合で変更）

☆事業の見直しは、市民の負担軽減を最優先に行うこと。

☆5大構想の歴史文化施設、市役所清水庁舎、海洋文化施設（総額400億円）の建設計画はいったん凍結し、中止を含む見直しを行うこと。

☆事業の見直しは、市民に情報を公開し、市民的合意をはかること。

## 5月29日 田辺市長は、財源確保のため、5大構想の歴史文化施設、市役所清水庁舎、海洋文化施設の建設計画凍結を正式に表明、その後6月16日の定例議会初日にも議会に報告しました。

### 市民のみなさんへ

新型コロナとのたたかいは長期にわたることが予想されます。市議団は市民と中小業者の暮らしと営業を守るため、市民の声を市政に届け、市民本位の市政を目指し全力を尽くします。



5月11日 第3次申し入れ 小長谷副市長が応対

### — 市政報告会を開催します —

**7月18日（土） 13:30～15:30**  
**あざれあ 第一研修室（4階）**

※コロナ対策としてマスクの着用をお願いします。密閉・密集・密接を避け時間ごとの換気を行います。  
※お車の方は、近隣駐車場へお願いします。